

「トロピック・サンダー 史上最低（サイテ〜）の作戦」 ★★★

2008（平成20）年11月22日鑑賞く
梅田ピカデリーへ

監督・脚本・原案・製作：ベン・スティラー
タグ・スピードマン（落ち目のアクション・スター）／ベン・スティラー
ジェフ・ポートノイ（下品な芸風のコメディアン）／ジャック・ブラック
カーク・ラザラス（やり過ぎ演技派俳優）／ロバート・ダウニー, Jr.
デミアン・コックバーン（首の皮一枚の雇われイギリス人監督）／スティーヴ・クーガン
ケヴィン・サンダスキー（バカ正直な新人くん）／ジェイ・バルチェル
コディ（危ない爆破コーディネーター）／ダニー・マクブライド
アルパ・チーノ（勝ち組の成金ラッパー）／ブランドン・T・ジャクソン
ロブ・スロロム（スタジオ・エグゼクティブで、グロスマンの忠実な部下）／ビル・ヘイダー
ジョン・“フォーリーブ”・テイバック（ベトナム戦争の中で生き続ける原作者）

／ニック・ノルティ
トラン（炎龍の12歳のボス）／ブランドン・スー・フー
ビョング（トランの部下）／レジー・リー
2008年・アメリカ画・107分
配給／パラマウント ピクチャーズ ジャパン

<おバカ映画がアメリカで大ヒットだが・・・>

ベトナム戦争に従事したジョン・“フォーリーブ”・テイバック（ニック・ノルティ）が書いた回顧録『トロピック・サンダー』が映画化されることに。雇われ監督はデミアン・コックバーン（スティーヴ・クーガン）。

そんな話を聞いて集まってきたのは、何とも個性的な3人のハリウッドスター。すなわち①落ち目のアクションスター、タグ・スピードマン（ベン・スティラー）、②下品な芸風のコメディアン、ジェフ・ポートノイ（ジャック・ブラック）、③やり過ぎ演技派俳優のカーク・ラザラス（ロバート・ダウニー, Jr.）。

ところが、このスタッフもキャストもチームワークが悪くバラバラ。そんな撮影風景の中、たちまち予算オーバーとなり、デミアン監督のクビと撮影中止が目前に。そこでやり手ながら非情なプロデューサーであるレス・グロスマンから次の失敗は許されないと厳命されたデミアン監督は、俳優たちを東南アジアの黄金の三角地帯にあるジャングルに置き去りにし、隠しカメラでリアルな戦闘シーンを撮ることに。もちろん脚本はあるが、凶悪な麻薬製造・密売組織から加えられる彼らへの攻撃は、果たして脚本どおりに・・・？

そんな、ありえねー、おバカ映画そしてパロディ映画がアメリカで大ヒット！暗いニュースが多いアメリカ人がこんな映画に救いを求める気持はわからなくもないが、さて日本では？

<パロディはホンモノ以上に難しい・・・？>

『地獄の黙示録』（79年）、『プラトーン』（86年）、『ディア・ハンター』（78年）、『プライベート・ライアン』（98年）はベトナム戦争を描いた名作中の名作だから印象的なシーンがいっぱい。また、シルベスター・スタローン主演の『ランボー』シリーズや迫力満点の戦争映画『プライベート・ライアン』などにも印象的なシーンがいっぱい。その他名作には印象に残るあのシーン、このシーンがたくさんあるが、それをうまくパクリ、コメディに仕立てるのがパロディ映画。しかし、パロディ映画の面白さを堪能するにはもとの名作を知っていることが大前提。したがってよほどの映画通でなければパロディ映画はホンモノ以上に難しい・・・？

<あのスター、このスターを見抜ける？>

パロディ映画の理解も難しいが、カメオ出演を見抜くのも結構難しい。この映画のパンフレットは800円と少し高いが、内容の充実度は抜群。そこには驚きのカメオスターがNo. 1～No. 10まで紹介されているが、それもヒントだけと念が入っている。つまり驚きの豪華カメオスターはTSUTAYA online [携帯サイト限定]でチェック！<http://tsutaya.jp/site/i/>というわけだ。このおバカ映画が気に入った方はそこまでとことん勉強すればたちまちハリウッド通になれるはず。

<ハイライトは？>

ハリウッド映画が全世界を席卷していることを暗示するのは、黄金の三角地帯を取り仕切る麻薬組織炎龍の12歳のボスであるトラン（ブランドン・スー・フー）がタグ・スピードマン主演の「シンプル・ジャック」の大ファンだということ。そのため、捕虜とされたタグ・スピードマンはみんなの前でまるで学芸会のような形でトランを共演者としてその演技をすることを強要されるのだが、そこに付け込んだのがその救出に向かったジェフ・ポートノイとカーク・ラザラスたち。

この映画のハイライトはそんなタグ・スピードマンの救出前のド派手さとおバカぶりからその楽しさをタップリと。